

今週のビルマのニュース
2010年10月29日【1040号】

サイクロン襲来で17万人に影響、7万人が家を失う

・サイクロン「ギリ」が22日にアラカン州に上陸し、現地からの情報によれば約17万人に影響を受け、7万人が住居を失った。国営メディアは死者27人・行方不明者15人と発表した。もっとも多い可能性もある(26日国連緊急援助調整官室ほか)。

軍政外相、スーチー氏解放の可能性に言及

・28日に開かれたASEAN首脳会議を前に、27日にはASEAN加盟国外相の非公式夕食会があり、出席した軍政のナンウィン外相が、民主化運動指導者アウンサンスーチー氏が11月の選挙後に解放される可能性があることを述べたことがわかった。現在自宅軟禁されている氏の拘束期限は11月13日とされているが、外相は具体的な日程には言及しなかった。外相はまた、軍政トップ・タンシュエ上級大将は選挙に出馬しないと述べた(28日AFP、時事ほか)。

・ASEAN国会議員によるミャンマー議連(AIPMC)は27日に声明で「総選挙は軍の支配を正当化するための手続きであり、ASEANは結果を承認するべきではない」と訴えた(27日AIPMC)。

東京で総選挙に抗議するデモ

・27日、在日ビルマ人民民主化活動家や支援者など約400人が、総選挙の実施に抗議して都内をデモ行進し、選挙結果を認めないよう日本政府に求める共同アピールを発表した(29日ビルマ市民フォーラム)。

ビルマの腐敗度は世界ワースト2位

・トランスペアレンシー・インターナショナルが2010年の腐敗認識指数を発表。178の国・地域のうちビルマは176位(アフガニスタンと同位)だった。

国連調査委員会設置 クリントン長官が努力を約束

・クリントン米 국무長官は28日、ホノルルでの演説で「米国が、ビルマでの人権侵害についての調査委員会設置に向けて努力していくことを改めて約束する」と述べた。またキャンベル国務次官補は、長官のアジア訪問ではどの会談でもビルマ問題に触れるだろうと述べた(26・28日国務省)。

ビルマへの政府開発援助(ODA) 約束状況など
新たな発表はなし

注目の記事

ビルマの核開発疑惑について、元国際原子力機関(IAEA) ロバート・ケリー氏のインタビュー(27日イラワディ) <http://www.irrawaddy.org/>

イベント情報

・『声なき難民の声をきく連続セミナー：日本社会をみつめる難民ー今秋スタートする「第三国定住」を問う』アムネスティ・インターナショナル日本主催 第1回「第三国定住の功と罪ービルマ難民の現況」講師：中尾恵子氏(日本ビルマ救援センター)、マ・テンテンウー氏(ビルマ難民)(31日14時～、専修大神田キャンパス7号館731教室)★要申込

・非民主的なビルマ総選挙に対する抗議行動 ビルマ人2010年総選挙ボイコット委員会(在日ビルマ大使館前、11月6日15～17時、7日9～16時)

・ドキュメンタリー「ピュア～ビルマ難民キャンプの子どもたち」上映・講演会 講師：在日ビルマ人 アムネスティ静岡グループ主催(静岡市女性会館アイセル21 4F41集会室、11月7日13時半～)

・ビルマ市民フォーラム例会『ビルマ総選挙はいかに？現地最新情勢と解説(仮)』根本敬(上智大学教授)・ティンウィン(在日ビルマ市民労働組合代表)(南大塚地域文化創造館、11月13日18時～)

・『ビルマ VJ 消された革命』上映&トーク 主催：浦安ドキュメンタリーオフィス(浦安市民プラザ WAVE101 小ホール、11月23日①10:30～②13:00～③15:15～)①②の回終了後、特別ゲストによる作品解説&トークあり ①秋元由紀(ビルマ情報ネットワーク)・工藤年博(日本貿易振興機構アジア経済研究所)②工藤年博 等

もっと詳しい情報は

きょうのビルマのニュース(平日毎日更新)
<http://www.burmainfo.org/news/today.php?mode=2>

Twitter公式アカウントはBurmaInfoJapan

ビルマ情報ネットワーク
<http://www.burmainfo.org>

お問い合わせ
ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀
yuki@burmainfo.org 080-2006-0165